

事業報告書

第 16 期

自 2018 年 9 月 1 日
至 2019 年 8 月 31 日

特定非営利活動法人 劇研

目次

特定非営利活動に係る事業

創造事業	・ ・ ・ ・ ・ 1
人材育成事業	・ ・ ・ ・ ・ 3
国際交流事業	・ ・ ・ ・ ・ 4
文化・芸術活動支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 5
文化・芸術を教育や児童青少年に活用する事業	・ ・ 5
文化・芸術による地域のまちづくり事業	・ ・ ・ ・ 6

特定非営利活動に係る事業

創造事業	支出額 5,908,374 円
------	-----------------

1. 事業内容

シニア世代の表現活動促進を目的に舞台芸術作品の制作・上演を行った。

2. 活動実績

- ・ 50才以上とするシニア世代のクラスの運営を継続。(劇研シニア劇団/高槻シニア劇団)

- ・ 劇研シニア劇団 4 クラスの企画運営 (主な活動場所 左京西部いきいき市民活動センター 人間座スタジオ)

シニア劇団「銀宴」 練習毎週水曜 (指導・演出：田辺剛)

公演：2019年7月 第6回公演『いつかの街角』演出：田辺剛 脚本：ナガイヒデミ

会場：人間座スタジオ 観客動員数：179名



シニア劇団「出町のおうち」 毎週金曜日 (指導・演出：村上慎太郎)

公演：2019年6月第1回公演『カラトモ!』脚本・演出：村上慎太郎

会場：人間座スタジオ 観客動員数：125名



シニア劇団「星組」 練習毎週月曜 (指導・演出：細見佳代)

公演：2019年4月第10回公演『きらきらひかる この世の星よ』

構成・演出：細見佳代 会場：人間座 劇団動員数：203名



シニア劇団「空いろ」 毎週金曜日 (指導・演出：細見佳代)

公演：2018年9月第3回公演『The Railway』構成・演出：細見佳代

会場：人間座スタジオ 観客動員数：149名(台風のため4ステージ目を中止)



- ・ 高槻シニア劇団 3 クラスの企画運営 (主な活動場所 高槻現代劇場 富田ふれあい文化センター)

高槻シニア劇団「恍惚一座」 練習毎週火曜 (指導・演出：山口茜)

公演：2018年10月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

恍惚一座 第6回公演「ラストダンスは私に」脚本・演出＝山口茜

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数：165名



高槻シニア劇団「そよ風ペダル」 練習毎週火曜 (指導・演出：筒井潤)

公演：2018年10月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

そよ風ペダル 第6回公演「ラベルの剥がされている水だよ」脚本・演出：筒井潤

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数156名



高槻シニア劇団「WakuWaku」 毎週木曜日 (指導・演出：高杉征司)

公演：2018年10月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

WakuWaku 第3回公演「一号棟一階南角にその保健室はある」

脚本・演出：高杉征司 会場：高槻現代劇場 305 号室 観客動員数 159 名



- ・ 活動総括（事業担当:杉山）

「シニア劇団」以外の創造事業については、劇場の閉館以降、作品を制作するための人的・物理的な体制が不十分なため本年度も見送ることとした。

- ・ 活動総括（シニア事業担当:梶川）

- ・ 空いろ：台風のため、最終公演が中止となったのは残念だった。劇団員の意識も高く、演技面でもチームとしても充実してきている。

- ・ 星組：今回で10作品目となり、シニア劇団として最長の活動となる。作品の質、動員数ともに安定しており順調な活動が継続されている。

- ・ 出町のおうち：最初の公演であったが、入団人数が少なかったことや、経験者と初心者の割合が偏っていたこと、自尊心の強すぎる劇団員のトラブルなどにより公演後の退団者が多く、残念ながら劇団は解散となった。反省を踏まえて今後に活かしたい。

- ・ 銀宴：外部の脚本に執筆をお願いします。そのことにより動員は増えた。銀宴の脚本は田辺さんに執筆してもらいたいということを再確認した。また、脚本が出来上がってから本番までの時間が少なかったため、稽古時間をどのように確保するかが課題となった。劇団員からは外部公演を望む声があり、今後検討していきたい。

- ・ WakuWaku:高槻シニア劇団は1期3年の区切りがあり、2期目からは現代劇場から独立しての運営になる。3年目を迎えいよいよ独立というタイミングだったが、劇団員の減少のため休団となった。

- ・ そよ風ペダル：講師の筒井さんの独自の作風を貫き、劇団員もそれを理解して創作にのぞんでいることにより、他に例を見ない魅力ある作品を生み出している。演劇創作に携わっている方から良い評価を得ることが多い。シニア層でなく若い方や一般の演劇愛好家をターゲットに活動をしていく道を模索したい。

- ・ 恍惚一座：劇団としての自立運営を意識して劇団員が助成金に申請し、高槻で上演した作品をシアターねこ（愛媛）でも上演した。

人材育成事業	支出額 2,728,807 円
--------	-----------------

1. 事業概要

舞台芸術に関わる人材育成を目的に、各種のプログラム及び公演を実施した。

2. 活動実績

- ・ 演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした公演クラスの継続(京都1クラス/高槻1クラス)
- ・ 若手の才能、技術や意識の向上と活躍機会の拡大を目指すスキルアップクラスの実施
- ・ 文化庁委託事業として「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム2017」を実施した。
- ・ 「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム」の修了者支援として「皿の歌公演 『サロ人』」を実施した。

■ 劇研アクターズラボ・公演クラス 京都 (主な活動場所 人間座スタジオ/京都)

演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした演劇クラス。1年間の練習を経て公演を実施する。

「劇研アクターズラボ+このしたやみ」クラス<指導：山口浩章（演出家）他>

毎週水曜実施 2017年6月スタート。

第2回公演 2019年5月3日～16日『三人姉妹』上演

会場：スペース・イサン/観客数 222名

第3期：2019年6月スタート 受講者 21名



■ 劇研アクターズラボ・公演クラス高槻 (主な活動場所 高槻現代劇場<大阪府高槻市>)

「劇研アクターズラボ+烏丸ストロークロック」<指導：柳沼昭徳（劇作家・演出家）>

チーム名「劇団わん」毎週水曜日開講 受講者 8名

2017年12月スタート

第一回公演 『西川高校西棟三階西日直射西角教室』脚本・構成・演出：柳沼昭徳

2018年11月10日、11日 会場：高槻現代劇場 305号室 観客動員数 112名

*劇団「烏丸ストロークロック」の活動の都合により、2018年11月で終了。

参考 「劇研アクターズラボ+夕暮れ社弱男ユニット」<指導：村上慎太郎（劇作家・演出家）>

2017年11月に行われた第3回公演をもって「劇団」として独立。現在も活動を継続中。



■ アクターズラボ・スキルアップクラス

『役者にとって必要な基礎技術の勉強会』

世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム出身者による、ワークショップ。出身者のアフターケアの一環で実施。第2期 2018年10月～12月 11回開催。総参加者数 132名/第3期 2019年1月～3月 10回開催 総参加者 66名
第4期 2019年4月～6月 14回開催 総参加者 79名

『優しい男 ワークショップ』

ユバチ第4回公演『優しい男』制作にあたって、創作のためのワークショップを実施した。

2019年6月、8月に3回実施 5名参加

■ 特別クラス

テルアビブ大学（イスラエル）舞台芸術学部演技科教授 ルティ・カネル氏による演技ワークショップ

経験者向け

2018年9月5日～7日 10時～17時

会場 左京東部いきいき市民活動センター 集会室

参加者 6名 ＊3日間通し参加



一般向け（初心者向け）

2018年9月8日 13時30分～15時30分

会場 左京東部いきいき市民活動センター 集会室

参加者 8名



■ 活動総括（事業担当：杉山準）

演劇の裾野拡大と技術向上を目的に京都と高槻で実施している公演クラスは講座運営も安定し、定着して来ており参加人数も拡大している。劇団「このしたやみ」によるクラスは2年目の公演を盛況のうちに終え、3年目の募集でさらに人数が増えて、20名を越す人気講座となった。高槻で開講した劇団「烏丸ストロークロック」の柳沼さんによる、新クラスが第一回の公演を好評のうちに終了することができたが、劇団スケジュールとの折り合いがつかず、1年で終了となってしまったのは残念だった。

『世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成プログラム』を卒業したメンバーが行うワークショップ『役者にとって必要な基礎技術の勉強会』、及びメンバーの一人小倉笑が行う『優しい男ワークショップ』を開催した。シアターx（東京）と協力しイスラエルからルティ・カネルを招聘し貴重なワークショップを行うことができた。

国際交流事業	支出額 270,962円
--------	--------------

1. 事業概要

舞台芸術を通じた国際交流を目的に、海外の劇団を招聘し以下のプログラム及び公演を実施した。

2. 活動実績

- ・ 演出家ルティ・カネル氏（イスラエル）が率いるルティ・カネルシアターグループを招聘し『At sea』公演を計画したが、台風の到来により中止となった。
- ・ 急遽代替策として、ワークショップ会場にて作品のダイジェスト版を無料で上演した。

2018年9月5日 14時30分 会場：左京東部いきいき市民活動センター集会室

来場者数 25名

＊ 助成：文化力チャレンジ



■ 活動総括（事業担当：杉山準）

小規模なものとなったが、今年度も国際交流の促進に寄与する事業を行えたことは大変良かった。残念ながら台風の到来で公演が中止となってしまったが、急遽その代替で行ったデモンストレーション公演は、照明等の効果はなかったものの演技技術の高さと、内容の深さで十分に楽しめる内容となった。ルティ・カネルシアターグループによるパフォーマンス

は、イスラエルの歴史的背景や土地性をふんだんに盛り込み、人間の根源的な存在意義を問うものであった。観に来てくれた人たちは積極的に分からなかったところや気になった箇所をルティや俳優たちに投げかけ、それぞれの国や文化について意見を交わす事が出来た。

文化・芸術活動支援事業	支出額 1,713,775 円
-------------	-----------------

1. 事業概要

舞台スタッフやプロデュースなど専門家の派遣や演劇プログラムの企画・実施等を請け負う。

2. 活動実績

- ・ 京都造形芸術大学舞台芸術学科への「アドバイザースタッフ」派遣 年間複数回実施。
- ・ 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻への高所作業指導員の派遣。年間複数回実施。
- ・ 公益財団法人高槻市文化振興事業団が行う、高槻現代劇場の演劇プログラムの受託。

- 公益財団法人高槻市文化振興事業団の委託を受けて、『高槻 de 演劇』と題する高槻現代劇場（高槻市）の主催事業を実施した。

『高槻 de 演劇秋のプログラム』2018 年 10 月～11 月会場：高槻現代劇場 305 号室他

<実施プログラム>

①50 歳から始める演劇体験講座 講師：小原延之 10 月 30 日（火）、11 月 6 日（火）2 日間合計 41 名参加

② 高槻シニア劇団 WakuWaku 第 3 回公演『一号棟一階南角にその保健室はある』10 月 27 日・28 日

③高槻シニア劇団そよ風ペダル第 6 回公演『ラベルの剥がされている水だよ』10 月 30 日・31 日

④劇団水曜の家族第 4 回公演『水曜日のガールズバンド』11月3日・4日

⑤高槻シニア劇団恍惚一座『ラストダンスは私に』11月6日・7日

⑥劇研アクターズラボ+烏丸ストロークロック 劇団わん第 1 回公演『西川高校西棟三階西日直射西角教室』11月10日・

11日

文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業	支出額 230,050 円
-------------------------	---------------

1. 事業概要

舞台芸術の表現の魅力を伝えるとともに、その表現や演技の力を社会に活かす活動を実施する。

2. 活動実績

- ・ 演劇の手法を用いて学校での授業を実施。
- 高槻市立第七中学校で授業を実施。2019 年 5 月 30 日
- 高槻市立阿武野中学校で授業を実施。2019 年 6 月 7 日

高槻市文化振興事業団の依頼を受けて演劇の授業を行った。今年度もアシスタントとして、人材育成事業を受講していたメンバーを加えておこなった。

1. 事業概要

文化・芸術を活用した手法を用いて地域のまちづくり、市民活動の活性化、地域振興に資する事業を実施する。

2. 活動実績

・京都市左京西部いきいき市民活動センターおよび左京東部いきいき市民活動センターの管理・運営および高齢者ふれあいサロンの管理運営と市民活動、地域活性化に関わる事業の実施。建物の維持管理を行うとともに、会議室を、文化事業を始めとする市民活動に貸し出し、昨年度をさらに上回る高い稼働率で運営を行った。

・高齢者福祉やまちづくりに資する以下の「市民活動活性化事業」を京都市の委託事業として実施した。

<左京西部>*主な主催事業

いきいきワークショップフェスティバル2019

当センターの利用者等の活動を体験してもらうワークショップフェスティバルを開催し、全団体・個人の活動を広く紹介した。

事業は、左京区役所が実施する左京区 90 周年事業と連携し、それぞれの催しにおいて相互に人や情報が行き来する状況を作り出した。

開催日時 2019 年 6 月 16 日（日）

参加人数 講座：のべ 202 名 パフォーマンス・展示観覧：のべ 93 名

芸術活動を通じて親子がふれあい、創造する喜びを分かち合う事業

就学前、小学校低学年の児童とその保護者を主な対象に、親子向けのアートワークショップを実施した。ジャンルはできるだけ複数とする。

開催日時 2019 年 6 月 16 日（日）*時間を分けて 3 講座実施

参加人数 のべ 111 名

高齢者の健康や生きがいづくり事業

高齢者の年代や体力などに応じた、高齢者向けのワークショップの「体験版」を実施し、その後の継続的な講座へと発展させた。

開催日時 2019 年 6 月 16 日（日）*時間を分けて 5 講座実施

参加人数 のべ 33 名

高齢者への聞き取りを通じた、多世代交流事業

過去 2011 年度から実施してきた「高齢者への聞き取り」を通じて、多世代が交流する事業を、今年度も大谷大学社会学部と連携し、学生を交えて実施した。今年度は聞き取りの担い手人材の育成を目的に講習会のみを、学生だけでなくセンター職員や一般の方にも公開し開催した。

開催日時 2019 年 6 月 6 日、6 月 13 日、6 月 22 日、6 月 27 日、7 月 4 日、7 月 11 日

参加人数 28 名（大学 13 名、職員 5 名、一般 10 名）



地域住民及び多世代交流促進事業 2019

地元組織、学校、地域団体等と連携し『ようせい夏まつり 2019』を実施した。

開催日時 2019年8月3日（土）17時～21時

参加人数 のべ800名



高齢者への食事支援を通じた居場所作り事業

月一回程度、地域の特に独居の高齢者の食事支援、交流の場を作り、地域の助け合いを育んだ。

開催日時 2019年4月からの第4水曜日 11:30～13:30 参加人数 毎月20人前後

<左京東部>＊主な主催事業

・ 多文化共生促進事業『多文化共生について日本語で話そう』

日本在住の外国人やその支援を行う団体、および留学生を交え多文化共生を促進するため、そのアイデアを出すためのワークショップを開催した。

2019年1月19日（土）10時～12時半 会場 京都文化日本語学校（京都造形芸術大学内 顕心館）

参加人数 31名

2019年6月16日（日）10時半～12時 会場 左京西部いきいき市民活動センター



動センター

参加人数 5名

2019年8月29日（木）14時～17時 会場 左京東部いきいき市民活動センター

参加人数 17名

・ 芸術活動を通じて親子がふれあい、創造する喜びを分かち合う事業「へんしんコスチュームでカーニバル」

就学前、小学校低学年の児童とその保護者を対象に、親子向けのアートワークショップを実施する。ジャンルはできるだけ複数とし、可能な限り外国の子供たちや、障がいを持つ子供さんも受け入れた。不要となった布を使って、オリジナルの衣装を作り、それを身につけて、楽器を鳴らしたり、音楽に合わせて踊ったりした。

2019年6月16日（日）10:30～12:00 会場 左京西部いきいき市民活動センター



一 参加人数 30名

・ 近隣地域との交流促進事業『復活！錦林盆踊り大会 2019』

過去4年取り組んできたお祭りを今年度も引き続き実施した。盆踊りの実施を目玉に据えて、老若男女、他地域、他国籍いろいろな人が集えるお祭りを開催。地元の出店とエコ学区サポートセンターの出店も実施。開催日時 2019年7月28日 17時～21時

17時：模擬店開店。18時盆踊りスタート。21時 参加人数延べ約750人

